

電子くじについて

○ 概要

電子入札システムでは、予定価格内で最低価格の応札者が複数いた場合、電子くじにより落札候補者を決定します。

- ① 応札者は、入札書提出時に3桁の任意の数字を「くじ番号」として入力します。
- ② 紙入札の場合は、発注機関の担当者が書面の入札書に記載された「くじ番号」を開札時に入力します。

○ 電子くじの判定仕様

- ① 応札者は、入札書提出時に任意の3桁の「くじ番号」を入力します。
- ② 開札の結果、最低価格で同額の応札者が複数いた場合、電子くじによる抽選を行います。
- ③ 最低価格が同額の応札者には、入札書の到着順に0、1、2、3・・・の順に「入札書到着番号」を割当てます。
- ④ 次の数式で得られた「余りの数字」と「入札書到着番号」が一致した応札者が落札候補者になります。

$$\frac{\text{くじ対象の応札者が入力したくじ番号の和}}{\text{くじ対象の応札者数}}$$

○ 電子くじの判定例

A～Fの計6社が参加した入札で開札の結果、以下のようなA社、B社、C社（紙入札）の計3社が最低価格で同額であったとします。

応札者	入札額	くじ番号	入札書提出日時	入札書到着番号
A社	8,000,000円	197	2004/12/11 10:22:00	1
B社	8,000,000円	386	2004/12/10 11:00:57	0
C社（紙入札）	8,000,000円	567	2004/12/13 10:03:20	2
D社	9,000,000円	789	2004/12/12 09:07:31	
E社	10,000,000円	999	2004/12/12 12:10:08	
F社	11,000,000円	789	2004/12/12 11:26:43	

数式を用いて応札者が入力したくじ番号より、当選番号を求めます。

$$\left(\begin{array}{ccc} \underline{197} & + & \underline{386} & + & \underline{567} \\ \uparrow & & \uparrow & & \uparrow \\ \text{A社} & & \text{B社} & & \text{C社} \end{array} \right) \div \begin{array}{c} \underline{3} \\ \uparrow \\ \text{くじ対象応札者数} \end{array} = 383 \text{ 余り } \underline{1}$$

上記の結果、余りは1であるため、入札書到着番号が1である、A社が落札候補者になります。